



### 町の子どもたちの学力・学習状況について

〔平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査結果〕

平成31年4月に実施した全国学力・学習状況調査の松田町立小・中学校の結果をまとめました。県公立学校の平均正答率を基準として、5ポイント以上高い場合は、「高い傾向」、5ポイント以上低い場合は、「低い傾向」と表記しています。

〔問〕 教育課 学校教育係 ☎(83)7023

#### 概要

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査は、全国の小学校六年生、中学校三年生を対象に、小学校は国語、算数の二教科、中学校は国語、数学、英語の三教科でそれぞれ実施されました。調査の目的は次のとおりです。

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。  
(文部科学省ホームページより引用)

出題範囲は前学年までの指

## 《挑戦! まつだマイスター検定》

旧松田町と寄村の合併60周年を記念して、「虫沢焼酎芋の会」により生産された芋を使って作られた町オリジナル芋焼酎の名前は何か。 (答えは6画) ①まつだ乃華 ②震旦郷(シダンゴ) ③春つらら ④まつだ乃夢

- ・ 導事項を原則としておりま
- ・ す。また、生活習慣や学習意欲、家庭学習などに関する質問紙調査も行われました。
- ◆ **学力調査**
- **小学校**
- **国語** 県公立学校の平均正答率より低い傾向
- 〔高い傾向〕
- ・ ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること
- 〔低い傾向〕
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
- ・ 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えること
- **算数** 県公立学校の平均正答率より低い傾向
- 〔高い傾向〕
- ・ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること
- 〔低い傾向〕
- ・ たし算とかけ算の混合した整数と小数の計算をすること
- ・ 場面の状況から、単位量当

- ・ たりの大さを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断すること
- ◆ **中学校**
- **国語** 県公立学校の平均正答率と同程度
- 〔高い傾向〕
- ・ 封筒の書き方を理解して宛名を書くこと
- ・ 話し合いの話題や方向を捉えること
- 〔低い傾向〕
- ・ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと
- ・ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること
- **数学** 県公立学校の平均正答率と同程度
- 〔高い傾向〕
- ・ 数の集合と四則計算の可能性について理解すること
- ・ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
- 〔低い傾向〕
- ・ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと
- ・ 反例の意味を理解すること
- ・ 事柄が成り立つ理由を説明すること
- **英語** 県公立学校の平均正答率と同程度
- 〔高い傾向〕
- ・ まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解すること
- ・ 与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数

- ・ 現在時制の否定文を正確に書くこと
- 〔低い傾向〕
- ・ 文の中で接続詞を適切に用いること
- ・ 与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと
- ・ 一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くこと
- 本年度、松田町では、神奈川県教育委員会から「かながわ学びづくり研究」の委託を受け、各小・中学校で授業改善・授業力向上に向けた研究を進めています。研究会の中では、大学教授などを招へいして、先生方も学びを深めています。
- 令和2年度には小学校学習指導要領が、令和3年度には中学校学習指導要領が全面実施となることを見据えて、先生方の学びが子どもたちの資質・能力の育成につながるよう、今後も研さんを積んでまいります。

#### 質問紙調査



- ◆ **小学校**
- 〔高い傾向〕
- ・ 授業でもっとコンピュータ
- 〔低い傾向〕
- ・ 自分には、よいところがあると思う
- ・ 将来の夢を持っている
- ・ 読書は好きである
- ・ 外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う
- ・ 学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思
- ◆ **中学校**
- 〔高い傾向〕
- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起きている
- ・ 自分には、よいところがあると
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加している
- ・ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思
- 〔低い傾向〕
- ・ 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している
- ・ 家では自分の計画を立てて勉強している
- ・ 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思
- ・ 1、2年生のときに受けた

松田町の小・中学校に取り入れられているICT機器が、子どもたちの学習意欲につながっている様子が伺えます。また、特に中学生は、地域の行事にも積極的に参加し、地域の一員としての自覚をもった生活ができています。

小・中学校ともに、話し合い活動によって、自分の考えの深まりや広がりを実感できていない傾向にあることが気になる点です。自分の考えと比較する中で、目的意識をもって話し合い活動に参加できるように、さらに指導を充実させていきます。

また、引き続き「特別の教科 道徳」の時間を要とした道徳教育にも力を入れ、子どもたち一人ひとりの個性を尊重した指導をおして、自己肯定感・自己有用感を高められる教育活動を展開してまいります。